

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 ASJ 上場取引所 東  
 コード番号 2351 URL <http://www.asj.ad.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 丸山 治昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 茂喜 TEL 048-259-5111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,762	12.6	△7	—	△8	—	△11	—	△11	—	△11	—
2019年3月期第3四半期	1,565	△3.9	△64	—	△64	—	△68	—	△68	—	△67	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△1.43	—
2019年3月期第3四半期	△8.71	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,276	2,796	2,796	65.4
2019年3月期	4,016	2,823	2,823	70.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	7.9	20	—	12	—	1.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,947,100株	2019年3月期	7,947,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	94,918株	2019年3月期	94,918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,852,182株	2019年3月期3Q	7,852,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 7
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(会計方針の変更) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの概況としましては、当社グループ内における一層のシナジー創出の実現に向け、新たなサービスの提供に向けた研究開発活動や営業活動の強化等、様々な施策に取り組んだ結果、当社グループの業績は堅調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比12.6%増となる1,762,689千円となりました。また、利益につきましては、営業損失7,336千円、親会社の所有者に帰属する四半期損失は11,262千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、現金及び現金同等物が増加したこと並びに新規事業への投資による非流動資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ259,628千円増加し、4,276,073千円となりました。

また、負債につきましては、将来の売上に係る前受金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ287,014千円増加し、1,479,682千円となりました。資本につきましては、配当金の支払いを行ったこと等により、前連結会計年度末と比べ27,385千円減少し、2,796,391千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、予想の範囲内で推移しており、2019年5月15日発表「2019年3月期 決算短信〔IFRS〕」で公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	745,040	823,294
営業債権及びその他の債権	549,075	591,731
その他の金融資産	50,048	—
棚卸資産	123,279	135,981
その他の流動資産	40,573	59,193
流動資産合計	1,508,017	1,610,200
非流動資産		
有形固定資産	1,421,673	1,511,645
のれん	295,728	295,728
無形資産	618,691	688,832
その他の金融資産	166,895	164,311
繰延税金資産	3,266	3,005
その他の非流動資産	2,172	2,348
非流動資産合計	2,508,428	2,665,872
資産合計	4,016,445	4,276,073

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	13,008	93,008
営業債務及びその他の債務	401,982	547,550
前受金	218,824	261,389
未払法人所得税等	22,495	10,923
引当金	39,422	39,422
その他の流動負債	122,168	128,761
流動負債合計	817,900	1,081,055
非流動負債		
社債及び借入金	115,908	106,152
その他の金融負債	—	46,409
退職給付に係る負債	141,098	128,874
引当金	25,489	30,727
繰延税金負債	82,463	81,663
その他の非流動負債	9,808	4,800
非流動負債合計	374,767	398,627
負債合計	1,192,668	1,479,682
資本		
資本金	1,373,833	1,373,833
資本剰余金	1,236,586	1,236,586
自己株式	△42,491	△42,491
その他の資本の構成要素	69,188	68,870
利益剰余金	186,660	159,592
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,823,777	2,796,391
資本合計	2,823,777	2,796,391
負債及び資本合計	4,016,445	4,276,073

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
	千円	千円
売上収益	1,565,307	1,762,689
売上原価	△1,011,534	△1,195,330
売上総利益	553,772	567,358
販売費及び一般管理費	△617,765	△575,060
その他の収益	789	3,225
その他の費用	△862	△2,858
営業損失(△)	△64,065	△7,336
金融収益	47	49
金融費用	△254	△1,245
税引前四半期損失(△)	△64,272	△8,531
法人所得税費用	△4,125	△2,730
四半期損失(△)	△68,397	△11,262
四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△68,397	△11,262
非支配持分	—	—
四半期損失(△)	△68,397	△11,262
1株当たり四半期損失(△)		
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△8.71	△1.43

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
	千円	千円
四半期損失 (△)	△68,397	△11,262
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△62	77
純損益に振り替えられることのない項目合計	△62	77
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,320	△395
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,320	△395
税引後その他の包括利益	1,257	△318
四半期包括利益	△67,139	△11,580
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△67,139	△11,580
非支配持分	—	—
四半期包括利益	△67,139	△11,580



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
千円	千円	千円	千円	千円	
2018年4月1日時点の残高	1,373,833	1,236,586	△42,460	66,231	△1,580
四半期損失(△)	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△62	1,320
四半期包括利益合計	—	—	—	△62	1,320
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—
2018年12月31日時点の残高	1,373,833	1,236,586	△42,460	66,169	△260

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分			合計
	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	
	合計	千円	千円	
2018年4月1日時点の残高	64,650	641,604	3,274,214	3,274,214
四半期損失(△)	—	△68,397	△68,397	△68,397
その他の包括利益	1,257	—	1,257	1,257
四半期包括利益合計	1,257	△68,397	△67,139	△67,139
配当金	—	△15,704	△15,704	△15,704
所有者との取引額合計	—	△15,704	△15,704	△15,704
2018年12月31日時点の残高	65,908	557,502	3,191,370	3,191,370

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
				千円	千円
2019年4月1日時点の残高	1,373,833	1,236,586	△42,491	69,459	△270
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,373,833	1,236,586	△42,491	69,459	△270
四半期損失(△)	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	77	△395
四半期包括利益合計	—	—	—	77	△395
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—
2019年12月31日時点の残高	1,373,833	1,236,586	△42,491	69,537	△666

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	合計
	合計			
	千円	千円	千円	千円
2019年4月1日時点の残高	69,188	186,660	2,823,777	2,823,777
会計方針の変更による累積的影響額	—	△100	△100	△100
会計方針の変更を反映した当期首残高	69,188	186,559	2,823,676	2,823,676
四半期損失(△)	—	△11,262	△11,262	△11,262
その他の包括利益	△318	—	△318	△318
四半期包括利益合計	△318	△11,262	△11,580	△11,580
配当金	—	△15,704	△15,704	△15,704
所有者との取引額合計	—	△15,704	△15,704	△15,704
2019年12月31日時点の残高	68,870	159,592	2,796,391	2,796,391

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を採用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	リースに関する会計処理の改訂

当社グループは、当連結会計年度の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過措置に準拠して遡及適用し、適用開始の累積的影響を当連結会計年度の利益剰余金期首残高の修正として認識しております。

本基準の適用による当連結会計年度の期首における要約四半期連結財政状態計算書に与える影響は、主に使用権資産を認識することによる資産の増加53,187千円、リース負債を認識することによる負債の増加53,288千円及び利益剰余金期首残高の修正による資本の減少100千円であります。また、要約四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。また、要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産を「有形固定資産」に、リース負債を「その他の金融負債」に含めて表示しております。

当社グループは、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類したリースについて、IFRS第16号の適用開始日に、リース負債を認識しております。当該リース負債は、残存リース料を適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しております。適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は、0.56%であります。

前連結会計年度末現在でIAS第17号を適用して開示したオペレーティング・リース契約と要約四半期連結財政状態計算書に認識した適用開始日現在のリース負債の調整表は以下のとおりであります。

	金額
	千円
2019年3月31日現在で開示したオペレーティング・リース契約	53,837
2019年3月31日現在で開示したオペレーティング・リース契約 (追加借入利率で割引後)	53,288
ファイナンス・リース債務 (2019年3月31日現在)	5,008
2019年4月1日現在のリース負債	58,296